

一般質問通告要旨（質問順）

1 渡辺有子（分割質問）

1 小泉構造改革から安倍政権が目指す税と社会保障の一体改革によって、福祉・医療・保険制度は高齢者に希望と安心をもたらすのかについて

(1) 自助、互助、共助、公助は公的責任の放棄であり、本市においても介護保険制度においては民間丸投げ、公的施設は民営化へと後退させようとしているが、これでは国の言いなりであり、地方自治体として市民、住民を国の悪政から守る防波堤の役割を放棄していると言えるが認識は **市長**

(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての現状と課題について **市長**

- ア 国が進めようとしている地域包括ケアシステムに対する認識
- イ 地域包括ケアシステムの構築について、国が示すスケジュールと本市における進捗状況
- ウ 現状における課題は何か。
- エ 推進体制は、例えば推進室などの設置が必要と考えるがどうか。

(3) 特別養護老人ホームの整備状況と今後の計画について **市長**

(4) 本市が目指す地域で支える安心、安全な暮らしの推進について **福祉部長**

- ア 認知症高齢者の置かれている現状
- イ 支援策の充実について

2 住む権利を保障するための住宅政策について **建築部長**

- (1) 住生活基本法は、居住の権利、安全な住宅に居住する権利の文言がなく、住生活の主人公である居住者の視点が欠落しているとの認識はあるか。
- (2) 本市のにいがた住まいの基本計画には居住者の視点はあるのか。
- (3) 居住の安定確保に若者が対象に含まれていない。貧困化、格差社会が問題となっている今、公共住宅の役割はますます大きくなっているとの認識はあるか。
- (4) 居住者の視点に立って、本市としてとりわけ若者の住宅確保に努めることが必要であると考えるが、取り組みの現状と今後の対策について

(5) 子育て世代の住宅確保の現状と今後の計画について

(6) 公営住宅への高齢者向けサービス提供ができるシステムの導入を

(7) 現状の公営住宅の環境改善についての計画

- ア 浴槽は市が設置すること。
- イ 経年劣化による補修、修繕、整備は市の負担で行っていることに間違いはないか。